

令和2年度学校評価実施計画

学校名

大分県立中津支援学校

前年度評価結果の概要

- 学習指導要領改訂にともなう生活単元学習にかかわる指導内容の見直しを行うことができた。しかし、本校の「基本的な考え方」の見直しに着手できていないため、系統性のある教育課程には至っていない。
- 各学部間における保護者の進路に関する意識、知識の差が大きい。各学部の課題を分析し、進路支援に関するPDCAをまわす取り組みが必要である。また、進路につながる小中高の系統性を持たせた指導の展開を検討する必要がある。
- 地震津波に関する取組は、6年間重点的取組に取り入れたことで成果をあげている。これらの成果を見直しできていない他の災害や学校安全に関する取組に応用していく必要がある。
- 各学部ごとに地域とのつながりを深めてきたことは成果としてとらえる。ただし、学部間の系統性がないことは課題である。また、HPによる学校からの発信はしているが、地域から学校への発信は少ない。「地域とともにある学校」を目指すためには、両方の情報を共有することが必要である。
- 働き方では、好事例の共有はできたが、長時間労働となっている課題への分析はできていない。タイムカードより学年、学部、分掌等の集計から傾向や特徴を分析し、教務改善を行う等の短期による働き方PDCAをまわす取り組みが必要である。

学校教育目標

中期目標

重点目標

児童生徒一人一人の能力や特性に応じた教育を行い、その可能性をのばし、自立と社会参加を目指す人間を育成する。

- 個の実態や特性を踏まえ、教育的ニーズに応じた質の高い教育活動の展開
- 生活保障・進路保障に向けた進路支援の充実
- 安全・安心な学校づくりのための教育環境の整備・改善・充実

- カリキュラム・マネジメントの推進
- 安全・安心な学校づくりの充実
- 児童生徒に向き合うための業務改善の推進

※ PL：プロジェクトリーダー、SL：サブリーダー

重点目標	達成（成果）指標	重点的取組	取組指標	PL SL
カリキュラム・マネジメントの推進	各教科等合わせた指導の「基本的な考え方」の改訂	基本的な考え方の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○ OPL, SLで項目を作成。各指導の形態ごとの縦割りグループの編成（5月） ○ 毎月1回以上グループ研修を実施。第1次案提出（6～8月末） ○ グループリーダーによる第1次案検討作業（9月） ○ 各グループで案修正（10～12月）最終案提出（12月末） ○ 全体研修（1月） 	PL：教務主任 SL：研修主任、主幹教諭
	各教科等を合わせた指導における「なりたい自分に必要な力（案）」の設定	個々の進路に対応するキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各担任で児童生徒の「本人・保護者の願いシート」における「なりたい姿・なりたい自分」の確認（4月上旬） ○ 研究主題「なりたい自分に必要な力（案）」を全教職員で協議・共有（4月中旬） ○ 各学部で事後研究会を含む互見授業（高等部は特定授業）を実施（～12月） ○ 事後研究会では、「なりたい自分に必要な力（案）」の検証実施 ○ 研究主題「なりたい自分に必要な力（案）」に関する校内研修会（指導力向上事業に係る校内研修会）を2回実施（8月中） 	PL：研修主任 SL：進路支援主任、各学部研修部代表、主幹教諭
安全・安心な学校づくりの充実	ヒヤリハット報告を180件以上提出	ヒヤリハット報告による安全な環境づくりの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全点検実施の教職員が、学期初めの奇数月に、1人1件のヒヤリハット報告（想像でも可）を提出（5、9、1月） ○ e-オフィスの会議スペースを活用し、集約、改善策を共有 	PL：保健主任 SL：生徒指導主任、主幹教諭
	地域の方との交流 年10回	地域の教育資源を活用した学習活動の充実と地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との打合せ〔場所、時期、活動人数等〕（5月） ○ 北部校区の方との学校周辺の清掃活動を実施（10月） ○ スクールサポーター等を活用した授業を、各学部年3回以上実施 	PL：人権教育主任 SL：特別活動主任
児童生徒に向き合うための業務改善の推進	一人一目標「3」以上が9割 ※5段階評価における「3」	働き方を考える一人一目標の設定と実行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理職による目標管理面談を通じた働きかけ（年3回） ○ 目標や取組状況、取り組み後の成果と課題を衛生委員会で確認（年3回） ○ タイムレコーダによる時間外勤務の個票作成（毎月） 	PL：衛生管理者 SL：教頭
	業務改善の立案・実行5件	前年度の分掌反省及び好事例に基づく業務改善案の実行	<ul style="list-style-type: none"> ○ OPL・SLによる業務改善案の整理（5月） ○ 運営委員会での報告（6月） ○ 実践（4～12月） ○ 検証（10月、1月） ○ 次年度への提起（2月） 	PL：教頭 SL：副学部主事